

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

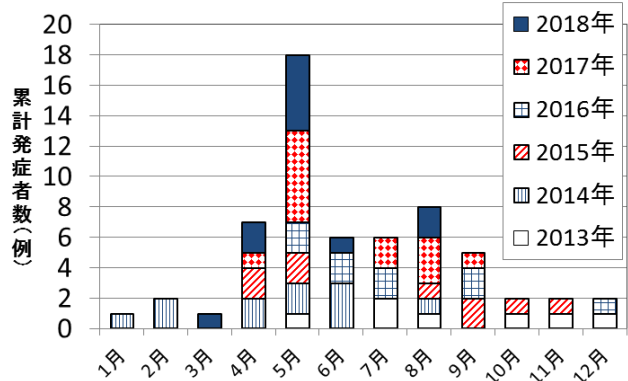
宮崎県第37週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は20歳代女性で、発症は8月下旬である。ダニの刺し口は確認出来なかった。県内での報告は今年11例目で、累計60例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	2	14	21	14	5

全数報告の感染症 (37週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1 例、レプトスピラ症 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	30歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	女	無症状病原体保有者	—
		高鍋	70歳代	女	肺結核	発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	20歳代	女	—	水様性下痢、O26(VT型不明)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	20歳代	女	—	発熱
	レプトスピラ症	宮崎市	20歳代	男	—	発熱、結膜充血、蛋白尿、腎不全
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	延岡	60歳代	男	—	肺炎
	後天性免疫不全症候群	都城	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
	侵襲性肺炎球菌感染症	日向	70歳代	女	—	発熱、全身倦怠感
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性パラ疹
	百日咳	日南	0~4歳	女	—	—
10歳代			女	—	—	持続する咳、夜間の咳き込み
10歳代			男	—	—	持続する咳

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は859人(定点当たり26.9)で、前週比101%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナである。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

報告数は375人(10.7)で、前週比105%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点あたり平均値*(5.8)の約1.8倍である。日南(53.3)、小林(11.3)、日向(10.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6か月～4歳が約6割を占めている。

【RSウイルス感染症】

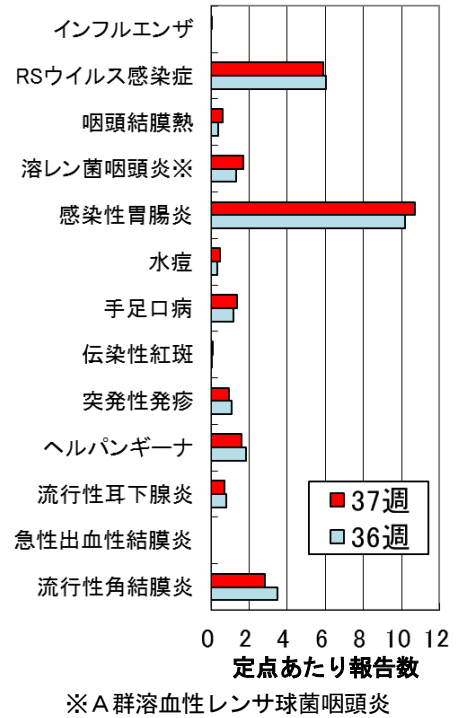
報告数は206人(5.9)で、前週比98%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点あたり平均値*(3.5)の約1.7倍である。日南(11.7)、都城(8.0)、宮崎市・小林(各7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は2歳以下が約9割を占めている。

【ヘルパンギーナ】

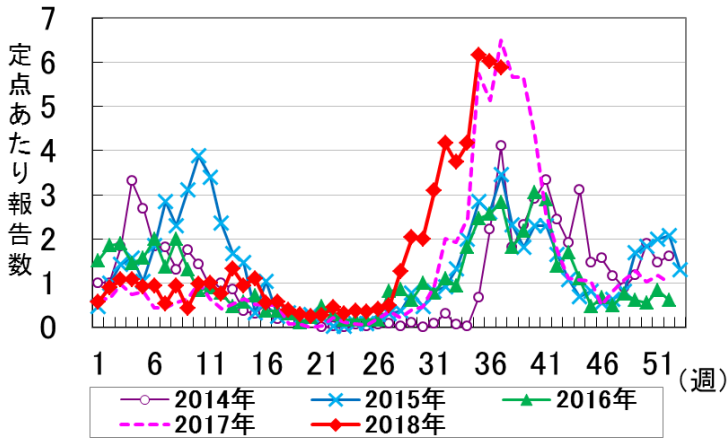
報告数は55人(1.6)で、前週比86%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*(1.2)の約1.3倍である。延岡(6.3)、日向(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～2歳が約6割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

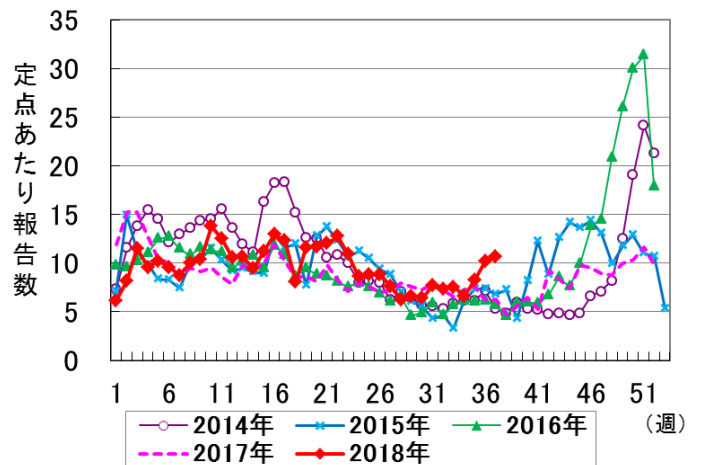
《前週との比較》



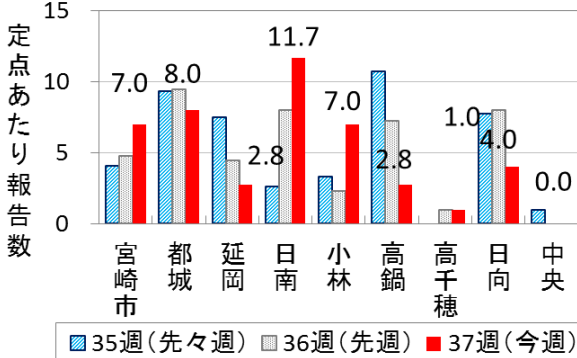
RSウイルス感染症 発生状況



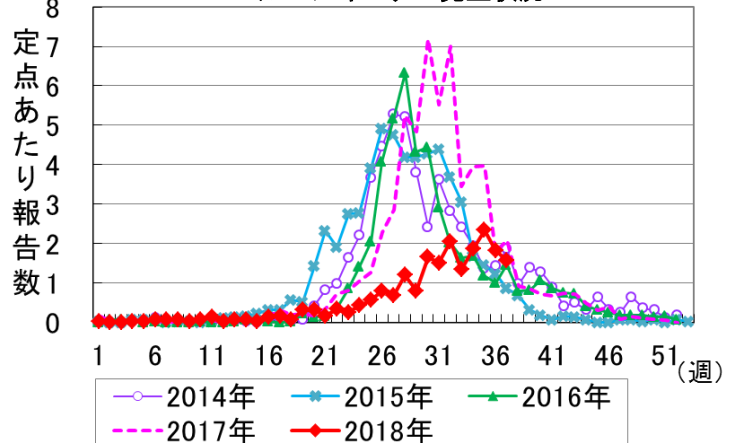
感染性胃腸炎 発生状況



RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 発生状況



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(6.3)
日南	感染性胃腸炎(53.3)、流行性耳下腺炎(7.0)
小林	水痘(2.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 36 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 36 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	320 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	141 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	13 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	8 例	日本紅斑熱	9 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	42 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	41 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例
	水痘（入院例）	6 例	梅毒	91 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	227 例
	風しん	127 例	麻しん	2 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎であった。

RSウイルス感染症の報告数は7,543人(2.4)で前週比113%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約1.8倍である。宮崎県(6.0)、佐賀県(5.4)、鹿児島県(5.3)、愛媛県(5.0)からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約9割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は1,089人(0.34)で前週比106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.2)の約1.7倍である。神奈川県(1.4)、宮城県(1.3)、東京都(1.1)からの報告が多く、年齢群別では3~6歳が全体の約6割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2018年 第37週(09月10日～09月16日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		3	3								
	定点あたり	0.00	0.05	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	211	206	63	48	11	35	21	11	1	16	
	定点あたり	6.03	5.89	7.00	8.00	2.75	11.67	7.00	2.75	1.00	4.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	21	1	2	3	6		3		6	
	定点あたり	0.37	0.60	0.11	0.33	0.75	2.00	0.00	0.75	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	45	59	14	8	14	2	1	7	1	6	6
	定点あたり	1.29	1.69	1.56	1.33	3.50	0.67	0.33	1.75	1.00	1.50	6.00
感染性胃腸炎	報告数	357	375	55	53	12	160	34	14	1	40	6
	定点あたり	10.20	10.71	6.11	8.83	3.00	53.33	11.33	3.50	1.00	10.00	6.00
水痘	報告数	11	16	4	2		1	8			1	
	定点あたり	0.31	0.46	0.44	0.33	0.00	0.33	2.67	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	41	47	15	4	8	11	3	2		4	
	定点あたり	1.17	1.34	1.67	0.67	2.00	3.67	1.00	0.50	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	2			1			1			
	定点あたり	0.03	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	33	11	5	5	1	4	2		3	2
	定点あたり	1.06	0.94	1.22	0.83	1.25	0.33	1.33	0.50	0.00	0.75	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	64	55	9	2	25	5	1	1		12	
	定点あたり	1.83	1.57	1.00	0.33	6.25	1.67	0.33	0.25	0.00	3.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	27	25	1	1	1	21					1
	定点あたり	0.77	0.71	0.11	0.17	0.25	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	21	17	10	5	2						
	定点あたり	3.50	2.83	3.33	2.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～37週)

2類感染症	結核	123例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	34例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例(1)
	つつが虫病	1例	デング熱	1例	日本紅斑熱	14例
	レジオネラ症	5例	レプトスピラ症	1例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9例(1)
	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	5例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	21例(1)
	水痘(入院例)	1例	梅毒	3例(1)	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	4例	百日咳	237例(3)	風しん	2例

()内は今週届出分、再掲